



国際ロータリー第2800地区
鶴岡西ロータリークラブ

地区方針 **「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう！**

第2542回例会 2020年9月7日(月) 会場：グランドエルサン

◆会長 佐藤一嘉 ◆幹事 辻 博智

会長挨拶 佐藤 一嘉



脱水症に注意

- ☆塩分不足・・・水を飲むほど体内の塩分が薄まる
 - ☆コーヒー・緑茶（カフェイン）・・・×。（利尿作用があり余計水分不足）
 - ☆アルコールはもっと×。（1ℓビールを飲めば、1.1ℓ体から水分が出る）
 - ★スポーツ飲料・・・○（但し糖分があり1日500cc）
 - ★麦茶＋煎餅・・・◎（カフェインなし＋塩）
- 昔から、10時3時休みに、冷たい麦茶に煎餅など出てくるのは、その理由からかと思えます。日本って凄いですね。

「調和を主とするも妥協を辞せず」 ちょうわをしゅとするもだきょうをじせす

この格言は、物事を平和的、建設的に進めるための心得を述べたものです。

ここにいう「調和」とは、たとえば夫婦間、友人間、上司と部下の間などで、相互に十分な意思の疎通があり、慈悲の心にもとづいて精神的にしっかりと和合していることです。「妥協」とは、多少の不都合や不利益があっても、互いに折れ合って、物事を平和的にまとめていくことです。

何事においても、調和のとれた状態が望ましいといえます。しかし、このような人間関係を築き、それを保っていくことは容易ではありません。ともすると私たちは、調和を求めることを忘れ、相手の立場を考えないで自己主張したり、物事を打算的に考えたり、むやみに他人の意見に迎合したりするからです。これらはみな、利己心の表われといえましょう。そこで私たちは、利己心の克服に努め、他人の意見のままに無責任な言動をとることなく、一人ひとりの個性を尊重し生かしながら、よりよい人間関係を築いていくことが大切です。『論語』に「和して同ぜず」とあるように、どのような場合でも、私たちは調和を求めて付和雷同することなく、主体的、建設的に努力していかなければなりません。

しかし、ときとして妥協しなければならない場合もあります。たとえば職場の上司や同僚と意見が食い違ったときなど、十分な話し合いをもつのは当然ですが、それでもなお意見の一致を見なかったならば、長期的、全体的な見地に立って妥協することも必要といえましょう。

どのような場合でも争いを避け、物事を平和的に進めることを原則とします。したがって、ときには多少の不都合があっても、すすんで妥協することもあります。この場合の妥協は、決して付和雷同ではなく、あくまでも建設的に事を運ぶための方法であると考えられるのです。そして相手を尊重する精神を失うことなく、よりいっそう深い思いやりの心をもって接し、さらに時間をかけて話し合いを続け調和のとれた人間関係を求めて努力するのです。

このような精神で進めば、自己の品性は向上し、やがてこちらの誠意が相手に通じ、いっそう強い信頼関係が生まれ、物事が順調に運ぶようになります。

付和雷同

自分にしっかりとした考えがなく、他人の言動にすぐ同調すること。▽「付和」は定見をもたず、すぐ他人の意見に賛成すること。「雷同」は雷が鳴ると万物がそれに応じて響くように、むやみに他人の言動に同調すること。

幹事報告 辻 博智 君

- ・ 9月のロータリーレート 106円
- ・ 「鶴岡市」合併15周年記念特集 企画協賛のお願い 荘内日報社

ゲスト

HARUKA design
代表 富樫 遥 さん



米山奨学生
アレックス 君



誕生祝い

・ 渡部 芳幸 君



ニコニコBOX

- ・ 今間 勝見 君
- ・ 五十嵐 久廣 君
- ・ 井上 彬 君
- ・ 阿部 悦子 君

鶴岡建設さんのコンペで優勝しました！久しぶりの優勝です。
猛暑の中コンペに参加して頂きありがとうございました。
今間さん優勝おめでとう。井上さんクラチャンおめでとうございます。
今間さん優勝おめでとうございます。
富樫遥さんありがとうございました。